

SNS利用に関する注意点について

みなさん方の中にも Instagram, Twitter, facebook などの SNS を利用している人が多くいると思います。しかし、便利な SNS も使い方を誤るとトラブルの原因になったり、知らないうちにトラブルに巻き込まれるといった危険性があります。各自注意点を熟考してトラブルを起こさない・巻き込まれないようにしましょう。

1. 偽アカウント、架空アカウントに注意

偽のアカウントや架空のアカウントを悪用して、不正リンクの投稿、個人情報盗用などが増えてきています。SNS で関わるアカウントの相手が本物であるかどうか確認し、本人確認ができない場合には、安易にフォロー（購読）したり、友達になったりしないようにしてください。

2. アプリケーションをダウンロードする際には要注意

アプリケーションの中には、スマホに入っているアドレス帳などの個人情報に関するデータへアクセスする許可を求めてくるものがあります。このようなアプリケーションの中には、個人情報を収集して、架空請求を送りつけることなどを目的としているものもあります。

ダウンロードする前に、アプリの利用規約・プライバシーポリシーの中で個人情報に関する記述は熟考して、リスクがある場合にはダウンロードをキャンセルしましょう。

3. プライバシー情報の書き込みに注意

友人間のコミュニケーションを目的として SNS を利用している場合でも、プライバシー設定が不十分であったり、人的操作ミスで情報が思わぬ形で拡散する危険性もあります。ネット上に書き込む場合は、書き込み内容に不適切な表現等がないことを十分に確認してください。

4. 位置情報の流出に注意

スマートフォンで撮影した写真には、設定変更していなければ、撮影日時、撮影した場所の位置情報（GPS 情報）が含まれます。位置情報付きの写真を確認せずにネット上に公開すると、自分の自宅や居場所が他人に特定されてしまう危険性があり、迷惑行為やストーカー被害などの犯罪の被害に遭う可能性もあるため十分注意が必要です。位置情報をつけて写真を投稿しないように心がけてください。

5. 著作権侵害に注意

写真、イラスト、音楽など、ネット上に掲載されているほとんどのものは誰かが著作権を有しています。これらを権利者の許諾を得ず複製し論文に使用、もしくは複製しネット上に公開することは著作権侵害に抵触します。

また、人物の写真は、撮った人が著作権を有するだけでなく、写っている人には肖像権があるため、ネット上に公開する際には著作権及び、肖像権の許諾が必要になることがあるので、十分注意してください。

※SNS によっては、投稿した写真の権利がサービス提供者に帰属する場合があります。

6. 個人情報の公開の危険性

ネット上に公開した情報は、悪意を持った第三者も閲覧できます。そのため、インターネット上で、氏名、年齢、住所、電話番号、自分の写真といった個人に関する情報を公開することのリスクについて、きちんと認識しておかなければなりません。

リスク1. ストーカー（大学生を狙ったストーカー被害が急増しています）

リスク2. 迷惑メール、振り込め詐欺など犯罪に利用される可能性

インターネット上に公開された個人に関する情報がコピーされて拡散していった場合、それを完全に削除することは困難です。

※ストーカー被害に遭ったときは、すぐに警察に相談してください。

7. SNSと個人情報・プライバシー

特定の友人だけに公開しているSNSの場合であっても、個人に関する情報の公開には注意が必要です。SNSのプライバシー設定が不十分であったり、友人側の操作ミスなどにより自分の意図しない範囲まで情報が広まってしまう場合があります。実例ですが、友人が皆さんの個人情報をSNSに公開したことにより個人が特定され、就職活動時に企業側から公開内容が不適切であると指摘されたことにより不採用になったという事例もあります。インターネット上に個人に関する情報を公開するということは、その情報が自分の手の届かないところへ拡散していく危険性があるということを念頭に置いて、慎重に投稿する必要があります。

また、特にSNSの場合、写真などの投稿により友人のプライバシー情報を公開することになる点にも留意が必要です。どの情報を他人に公開しても良いと考えるかは、人によって基準が異なります。友人に関する情報を掲載する場合には、事前に本人の許可を取るようにしてください。

8. ネットを使いたいやがらせや迷惑行為

ネット上に、自分の個人情報や誹謗中傷の書き込みがされているのを発見した場合には、書き込みに関する証拠（サービス名、URL）をスクリーンショットなどで保存した上で、サイトの管理者などに削除依頼をしてください。自分で対応するのが不安な場合は、まずは専門の相談窓口にお問い合わせるのが良いでしょう。

9. 発信内容は慎重に

SNSなどのツールは、日常生活の中でリアルタイムでの個人の思いなどを投稿できる点が大きな魅力です。しかし、その一方で個人の何気ない発言やふるまいは、ネット上で多くの人の目に触れることになり、場合によっては、社会に大きな影響を与えることがあります。

例えば、SNSにふざけて飲食店の不評を書いた場合、ネット上でその内容に関心を持つ人の間で賛否両論の大量の書き込みが行われ炎上したことで当該飲食店に対する営業妨害行為に発展し多額の慰謝料を請求されたり、悪ふざけのつもりで投稿した動画から、投稿者の個人情報の特定が行われ、社会に対して謝罪をするに至った事例も発生しています。

まずは自分のネット上での発信・投稿内容が、問題となる事項を含んでいないか、社会的非難を浴びるような内容でないかなど、発信・投稿前に今一度考える慎重さが必要です。

何か事が起こった場合にはネット上の行動は個人が特定されてしまうものだということを自覚する必要があります。